

事業計画書様式 2 - (1)

横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス 指定管理者事業計画書			
申込年月日 平成 17 年 6 月 10 日			
団体名	保土ヶ谷区区民利用施設協会		
代表者名	橋本 淳	設立年月日	平成 7 年 4 月 1 日
団体所在地	横浜市保土ヶ谷区川辺町五丁目 1 1 番 かるがも 3 階		
電話番号	045-348-2361	FAX 番号	045-348-2362
現在運営している施設名	所在地	運営開始年月日	
横浜市ほどがや地区センター	保土ヶ谷区天王町 1-21	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市西谷地区センター	保土ヶ谷区西谷町 918	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市初音が丘地区センター	保土ヶ谷区藤塚町 15-1	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市今井地区センター	保土ヶ谷区今井町 412-8	平成 11 年 5 月 30 日	
横浜市峯小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区峰岡町 1-10	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市笹山小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区上菅田町 1422	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市くぬぎ台小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区川島町 1374-1	平成 17 年 5 月 15 日	
横浜市瀬戸ヶ谷スポーツ会館	保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町 71	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市川島町公園こどもログハウス	保土ヶ谷区川島町 825-1	平成 7 年 4 月 1 日	

事業計画書様式2-(2)

1 申請団体に関すること			
(ア) 申請団体の経営方針について			
(イ) 申請団体の事業実績(活動実績)について			
(ア) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針について			
保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針は次のとおりです。			
1 区民のニーズに応え、公共的かつ公平性を担保した区民利用施設の管理運営を行うこと			
2 区民の自主的な活動の支援を通じて、区民を主体とした活力とふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成に寄与すること			
3 効率的かつ効果的な区民利用施設の運営を行うこと			
4 公の施設の管理運営の実績等を生かし安定した経営に努めること			
(イ) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について			
保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日に地区センター3館・コミュニティハウス2館・こどもログハウス及びスポーツ会館の合計7館で運営を開始し、その後地区センター1館、コミュニティハウス2館(既設施設転用型1館・学校施設活用型1館)を加え、今日10館の運営管理を職員116名で実施しています。			
この間、地域に密着した運営に努め、利用者の拡大に努めてまいりました。			
また、自主事業につきましても、利用者のニーズを取り入れた講座等を実施するなど取り組んできました。平成16年度の利用実績は527,528人となっています。			
各館の利用実績は、次のとおりです。(平成16年度)			
施設名	延べ利用者数	自主事業数	参加延べ数
ほどがや地区センター	150,962	25(76回)	4,971
西谷地区センター	115,821	24(65回)	5,338
初音が丘地区センター	71,418	25(140回)	4,939
今井地区センター	88,162	33(94回)	5,445
桜ヶ丘コミュニティハウス	36,121	24(71回)	1,202
峯小学校コミュニティハウス	10,657	2(48回)	940
笹山小学校コミュニティハウス	7,675	11(183回)	3,901
くぬぎ台小学校コミュニティハウス	5/14に開館	-----	-----
瀬戸ヶ谷スポーツ会館	14,481	4(12回)	134
川島町公園こどもログハウス	32,231	11(23回)	1,720

(1/8) ※A4版1ページ以内でおまとめください。

事業計画書様式 2 - (3)

2 桜ヶ丘コミュニティハウスの管理運営に対する基本理念に関すること

- (ア) 上記施設の管理運営を希望する理由について
- (イ) 申請団体における桜ヶ丘コミュニティハウス管理運営の位置づけについて
- (ウ) 保土ヶ谷区の特徴や上記施設の設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 桜ヶ丘コミュニティハウスの管理運営を希望する理由について

保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日より今日まで約10年2か月余にわたり地区センターやコミュニティハウスなど区民利用施設を管理運営してきた実績があり、区民にとって使いやすい施設とは何かを第一に考えながら日々努力を重ね現在に至っています。

また、利用者のより一層の拡大を図るため、事業を通して形成された自主グループの育成を支援し、地域コミュニティの醸成に寄与してきました。

区民利用施設の管理運営そのものが協会の使命であり、区民利用施設の管理運営なくして協会そのものが存立し得ないものであります。今までのノウハウを生かし、さらに区民に貢献いたしたい。

(イ) 保土ヶ谷区区民利用施設協会における桜ヶ丘コミュニティハウス管理運営の位置づけについて

桜ヶ丘コミュニティハウスは区の南部に位置し、子どもから高齢者まで幅広い利用者がいます。そのため、多様なサービスが求められています。保土ヶ谷区区民利用施設協会が管理運営している他の地区センター、コミュニティハウス等との連携をさらに図りながら、地域の住民の方から喜ばれ、利用したくなる区民利用施設としていきます。

(ウ) 保土ヶ谷区の特徴や桜ヶ丘コミュニティハウスの設置目的と、運営への反映の考えかた

横浜市の中で保土ヶ谷区の高齢化率は、5番目の17.6%となっており、また地形的にも中心市街地に隣接した落ち着いた既成市街地といえます。そうしたことから、区全体では高齢者の生きがいの場づくりが重要なテーマであります。一方、それだけ地域での青少年に対するかかわりは薄くなっていると思われ、児童をはじめ青少年に対する地域での健全育成に社会全体で手を差し伸べることが重要であると考えております。

平成11年に青少年図書館から転換し、コミュニティハウスとして運営を始め6年が経過しましたが、当初15,000人の利用者が36,000人に増え定着したものとなっています。

幼児から高齢者まで偏りが少なく幅広く利用いただいている地域の皆様に、満足いただくとともにコミュニティ形成にも努めていきます。

事業計画書様式2-(4)

3 桜ヶ丘コミュニティハウスの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

- (ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方
- (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方
- (ウ) 他施設や併設施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

最寄りの鉄道駅からは、徒歩では距離があり、周辺は落ち着いた住宅街となっています。3世帯で暮らす家族も多く、利用者の多くは良識的で挨拶もしっかりしており、マナーも落ち着いたものとなっています。

地域との関係づくりは、地域の代表者との関係を密にすることが最も重要と考えています。既に桜ヶ丘コミュニティハウスの運営を共に担っていく運営委員には、地元自治会代表、青少年指導員会長、老人クラブ代表、小中学校長、利用者代表などの地域の指導者に入っただいており、いろいろな事業、活動を通して地元住民参画の円滑な運営ができていると考えます。こうした多くの地域の代表者の意見を聞くことにより、地域のニーズをさらに運営に反映してまいります。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

前段で述べた運営委員の方の協力を得て地域ニーズをとらえていきます。当施設は平成10年に青少年図書館から転換した経緯から図書機能が充実(約23,000冊、地区センターは8,000~10,000冊)しており、主要業務のひとつとなっています。

図書に関しては、利用者が読みたい本がない場合、館内にあるリクエストカードに記入し、提出してもらう方法を採用しています。また、本の検索については、スタッフ・リーダーがコンピューターにより対応しています。その名のとおり、スタッフ・職員がなるべく利用者とのコミュニケーションを通して、地域ニーズや利用者ニーズをとらえるようにしています。

(ウ) 他施設との連携について

他の地区センターや公共施設とも離れた距離にあり、連携の取りにくい地理的条件にあります。しかしながら、近隣には小中学校もあり、自主事業活動には児童・生徒の積極的参加が見られます。部活児童とトロンボーン奏者との共演、小学生対象の数々の事業への参加、変わったところでは不登校生徒についての中学校との情報交換などがあります。

事業計画書様式2-(5)

4 桜ヶ丘コミュニティハウスでのサービスの提供に対する考え方

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

(イ) 会議室等の利用に関する取り扱いについて

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

横浜市の公共施設として誰もが楽しく気持ちよく利用できるよう、公平・公正に運営管理することを基本としています。また、コミュニティハウスが地域住民の活動と交流の場であることを意識し、幼児から高齢者まで誰もが気楽に利用できるよう努め、地域の自主的な活動と相互交流を図るものであれば、広く利用を促していきます。

利用の制限については、利用に関する要綱の中で「利用の禁止」で定めていますが、明らかに他の利用者の迷惑にかかる利用や営利活動など、最小限にとどめます。

(イ) 会議室等の利用に関する取り扱いについて

部屋の利用については、基本的には公平公正を旨とします。会議室は小さな会議室が二つ（10人用・18人用）あります。基本的には団体登録していただき利用してもらっています。囲碁などは個人が4人以上集まった場合には登録してもらい、個人利用に近い形で利用してもらっています。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

文化活動・地域活動についての情報は、各施設からのちらし・ポスターを館内に掲示しており、相談に適切なアドバイスができるようにしています。個々のスタッフ・職員が利用者とコンタクトする中で相談や助言の対応を行っています。

事業計画書様式 2 - (6)

5 事業の実施に関すること

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

※具体的な自主事業計画については別紙事業計画様式 3、4に記載してください。

環境的に落ち着いた住宅街が近隣に広がっています。マンションは最近少し建ち始めたが、戸建て住宅が多く、また 3 世帯で暮らす家族が多く見られます。サークル内の人間関係も円滑でトラブル等はありません。

サークル内容では、古典文学研究・謡曲・読書会・俳句・短歌・絵画等文化的なものが多いが、最近は多様化しつつあり、会議や打ち合わせ等で利用する地域団体も増えてきています。

地域内には各専門分野に優れた人材が多く、自主事業について講師やコーディネーターとしてお願いし、快く協力をいただいております。

こうした環境から自主事業について

1 桜ヶ丘コミュニティハウスを地域文化の拠点として継続していく

折り紙・俳句・書道など日本の伝統文化的なものを取り入れる。

2 対象・年齢層を偏ったものとせず、年代を超えたコミュニケーションが取れるような自主事業とする。

親子でリズム・親子で参加できる自然観察会など

3 図書機能の充実、活用を図った自主事業を企画する。

絵本（本）との関わりをつなぐものとしてのお話の会・人形劇・本の読み聞かせ講座など

なお、講師については当館地域に在住している方をさらに発掘し、また、関係講習会等で得た情報を基に選定していきます。

事業計画書様式2-(7)

6 施設の運営に関する考え方

- (ア) 指定期間中の運営に関する基本的方針について
- (イ) 効率的運営のための具体的な計画について

(ア) 指定期間中の運営に関する基本的方針について

- (1) 幅広い年齢層やさまざまなニーズに対応し、異世代交流も推進できる多彩な事業を展開するとともに、その講座を通して形成された自主グループを支援し、併せて地域のリーダーの育成を目指します。
- (2) 地域の拠点として関係機関・団体との連携を図り、地域愛を醸成するような事業実施に努めます。
- (3) 効率的・効果的な管理運営の実施、利用者サービスの向上に努めます。

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

管理運営を合理的に行うため、会計経理、労務管理を区民利用施設協会事務局が一体的に行うこと、また、いくつかの区民利用施設の管理運営を行っているスケールメリットを十分生かし、経費を節約し管理費の縮減に努めてまいります。

また、経費節減のため、作業担当業務の外部委託化を検討します。

事業計画書様式 2 - (9)

8 緊急時対策について

(ア) 防犯、防災の対応について

(イ) その他、緊急時の対応について

(ア) 防犯、防災の対応について

防犯については、緊急時のときの通報を警備会社等と契約しており、万全を期しています。火災時等については、消防計画に沿って避難誘導できる体制作りをしています。

なお、防災・防犯については、いずれも区地域振興課に報告し、その対応を協議します。

(イ) その他、緊急時の対応について

- 1 職員・スタッフが防災協会の行う普通救命救急法を取得し、館内の万一の事故発生時に対応できるようにします。習得者を順次増やしていきます。
- 2 地域の関係団体と連携をとり、緊急時には相互協力できるようにします。

平成18年度 横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
1. おりがみ教室 (こどもおりがみ)	幼児・小学生	0	0	0	0	0	0
	12人						
	無料						
2. こどもエコ工作	幼児・小学生	12,000	12,000	0	12,000	0	0
	30人						
	無料						
3. おはなしの会	幼児・小学生・一般	24,000	24,000	0	24,000	0	0
	15人						
	無料						
4. 人形劇	幼児・小学生・一般	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	30人						
	無料						
5. おやこリズム体操	幼児と保護者	24,000	24,000	0	24,000	0	0
	20人						
	無料						
6. 音の森林浴 コンサート 「マンドリン」	一般	29,000	20,000	9,000	20,000	0	9,000
	30人						
	300円						
7. 音の森林浴 コンサート 「オカリナ」	一般	29,000	20,000	9,000	20,000	0	9,000
	30人						
	300円						
8. 音の森林浴 コンサート 「未定」	一般	29,000	20,000	9,000	20,000	0	9,000
	30人						
	300円						
9. 絵手紙教室	一般	60,000	48,000	12,000	48,000	12,000	0
	12人						
	1,000円						
10. リサイクル手芸	一般	54,000	48,000	6,000	48,000	6,000	
	12人						
	500円						

事業ごと別紙に記載してください。

平成 18 年度 横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
11. 手軽な中国家庭料理教室	一般	41,000	24,000	17,000	24,000	17,000	0
	10 人						
	1,700 円						
12. わくわくおはなし講座	一般	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	12 人						
	無料						
13. 声に出して読んでみよう「朗読講座」	一般	36,000	36,000	0	36,000	0	0
	15 人						
	無料						
14. クリスマス飾り	一般	37,500	12,000	25,500	12,000	25,500	0
	15 人						
	1,700 円						
15. お正月飾り	一般	34,500	12,000	22,500	12,000	22,500	0
	15 人						
	1,500 円						
16. セタのおりがみ	幼児・小学生・一般	6,000	6,000	0	6,000	0	0
	15 人						
	無料						
17. 童謡を歌おう	一般	58,000	34,000	24,000	34,000	24,000	0
	30 人						
	800 円						
合 計		534,000	400,000	134,000	400,000	107,000	27,000

事業ごと別紙に記載してください。

平成 18 年度 横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音の森林浴コンサートシリーズ 6. マンドリン 7. オカリナ 8. 未定	音楽の楽しみ方はいろいろあるが、その美しさや楽しさを最も味わえるのは、生の演奏を聴くことにあると思う。しかし、近年の音楽会はホールも大きくチケット代も高い。 そこで、当館では、できるだけ身近な音楽家に来ていただき、生の演奏をサロン音楽会風に目の前で味わってもらいたいと考えている。演奏の楽器も小さな会場にふさわしく、庶民に親しみのある楽器をお願いしている。	時期 未定 全 3 回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもと絵本をつなぐシリーズ 3. おはなしの会 4. 人形劇 12. わくわくおはなし講座	当館は以前青少年図書館だったこともあり、図書貸出し業務が中心となっている。 子どもたちにできるだけ絵本・本に親しみを持たせ、絵本・本の楽しさを味わってもらうためのコミュニケーションとして、これまで、おはなしの会、人形劇を実施してきた。この事業は変わることなくこれからも実施していきたい。また、昨年に引き続きおはなしの会の講師養成講座を企画。講座終了後はおはなしのボランティアとして活躍の場を用意している。	・おはなしの会 5月～3月 6回 ・人形劇 11月・2月 各2回 ・おはなし講座 5/25～6/8 全3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エコシリーズ 2. こどもエコ工作 10. リサイクル手芸	着古したTシャツ、捨ててしまいそうな古いゆかたを使ったわらじづくり、また、古紙から再生された紙紐を使った買物バッグづくり、さらに、普段何気なく捨ててしまっているあらゆる物を使った大人向けと小学生対象の工作。これら作業を通して物を大切にすることを養うと共に環境に対する関心も深めてもらいたいと考えている。	・こどもエコ工作 8月・12月 全2回 ・リサイクル手芸 時期 未定 全8回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親とこどもいっしょに楽しむシリーズ 1. おりがみ教室(こどもおりがみ) 5. おやこリズム体操 16. 七夕のおりがみ	青少年図書館だったこともあり、幼児、小学生の来館は比較的多い。その子どもたちに楽しんでもらう自主事業を計画することは大切だと考えている。そこで 伝承の目的が達せられるおりがみをひとつあげた。七夕まつりは小学生以上大人も参加できるので家族のコミュニケーションにも効果的である。 おやこリズム体操は 1、2 歳児くらいの幼児が参加できる唯一のプログラムでありこれからも続けたい。	・おりがみ教室 5月、7月、9月 11月 全4回 ・おやこリズム体操 時期 未定 全4回 ・七夕のおりがみ 7月 1回

平成 18 年度 横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業別計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生活を豊かにするシリーズ	絵手紙教室はどの教室でも大評判の絵手紙。当館では初めての講座である。	・絵手紙教室 時期未定 全 8 回
9. 絵手紙教室	中国の家庭料理を中国の方から実際に手ほどきを受け、また気軽な家庭の味を得ることができたらとはじめての試みである。	・手軽な中国家庭料理教室
11. 手軽な中国家庭料理教室	当館は料理室がないのでメニューの工夫が必要である。	11 月以降 全 4 回
14. クリスマス飾り	毎年クリスマスの時期になると手作りのリースをひとつ欲しくなります。昨年好評だった本場の生のリースを作ります。	・クリスマス飾り 11 月～12 月初め
15. お正月飾り	お正月飾りはどのようなものを作るか未定であるが、お正月にふさわしい飾りを作りたい。	・お正月飾り 12 月初め～12/28

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
豊かな地域作りに役立つシリーズ	声を出すことにより、健康面によいことはもちろん、読むことにより脳の活性化にも繋がる。 本や文章のことを通じて友だちの輪もできる。	・朗読講座 時期未定 全 6 回
13. 声に出して読んでみよう 「朗読講座」	コミュニケーション作りにはひとつのものをいっしょに作り上げるというものが一番であるが、コーラスはその最も顕著なものである。	・童謡を歌おう 時期未定 全 6 回
17. 童謡を歌おう	いっしょに歌うことにより、心はひとつとなりまた健康にもよい。	

平成18年桜ヶ丘コミュニティハウスの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)		①-②=A	20,179
項	指定管理費		20,179
支出合計(B)			20,179
目	人件費	常勤職員(館長1人、指導員2人、法定福利費) 時給職員(スタッフ15人賃金、法定福利費)	14,464
	事務費	旅費、消耗品費、会議旅費、印刷製本費、通信費、備品購入費、図書購入費、施設賠償責任保険、手数料、諸費	1,240
	事業費	自主事業費	400
	管理費	光熱水費(電気・ガス・水道)、清掃費、修繕費、機械警備費、設備総合巡視点検、冷暖房設備保守、消防設備保守、電気設備保守(昇降機、自動ドア、電気工作物保守)、害虫駆除、植栽、その他保全費、建築設備定期点検	2,520
	事務経費	労務経費、消費税、事業所税、研修費	1,555
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。

桜ヶ丘コミュニティハウス 収支予算書 【様式6 説明】

項目	支出合計	(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	(単位:千円)
人件費 (1)			20,179
常勤職員			14,464
給与	館長(地区センター館長が兼務)		7,660
	リーダー(2人)		0
法定福利費	健康保険料		6,131
	厚生年金保険料		430
	児童手当拠出金		461
	雇用保険料		6
	労災保険料		38
	通勤費		33
	健康診断料		535
	福祉共済掛け金		14
時給職員			12
賃金	スタッフ(6人)アルバイト(2人)		6,804
法定福利費	労災保険料		6,754
	通勤費		35
	健康診断料		0
事務費 (2)			15
旅費			1,240
消耗品費			30
会議随費			250
印刷製本費			20
通信費			5
備品購入費			150
図書購入費			150
施設損害賠償責任保険			600
手数料			5
諸費			10
事業費(3)			20
自主事業費			400
管理費 (4)			400
光熱水費	電気料金		2,520
	ガス料金		651
	水道料金		484
修繕費	小破修繕		115
空調設備点検熱源機器等点検	空調機点検		100
害虫駆除	年2回		0
ウォータークーラー水質検査	年1回		45
消防用設備点検	年2回 外観機能点検、総合点検		10
自動ドア点検	年2回		44
機械整備点検	常時		48
清掃業務	定期清掃年4回、窓ガラス、フローリング他		362
植栽剪定	樹木管理		96
建築設備定期点検	年1回		180
その他	書籍管理システムサポート、塵芥処理料 空調点検		137
事務経費 (5)			248
労務経費			1,555
消費税			782
研修費	マネジメント、接遇、個人情報保護等、救命救急		723
			50